



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2008年10月 No.317
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2007~2008)	
センテニアルクラブ会長	『新たな感動を、再び』
東京セントラルクラブ会長	『活躍しよう Be Active』
国際会長	『希望の灯となろう』
アジア会長	『希望の灯となろう』
西日本区理事	『思いやりを持ってワイズライフを!』
中西部部長	『喜びを共にし、苦しみを分かち合おう』

クラブ役員	Officers
会長	大村 肇
副会長	山中 秀男
書記	石津 雅人
会計	中村 幸枝
ネット会長	山村 利子
Y連絡職員	鍛冶田 千文

Biblical Message of October

義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。

(マタイによる福音書 5章6節)

いつまでも夢を・・・

中村 茂高

昨年から、大学時代の仲間8人でバンドを組み音楽活動をするようになりました。きっかけは「お互い、これから何年も続けられる何かをしようよ」という誰かの発案でした。ピアノの教師をしている神戸の女性宅に集まり、月1回、練習をしているところです。ちゃんと発表の場もあって、昨年は5月に生徒や学生に混じり、「ブルーハワイ」を歌と器楽で披露。今年11月はモンキーズの「デイ・ドリーム・ビリーバー」に挑戦です。

学生の頃の苦勞もなかった私たちも、年月を経て、さまざまな厳しい状況にある仲間もいます。一人は仕事のストレスからくる難聴とメニエル病の発作を抱え、もう一人は何年も前から「うつ」のために教壇に立つことができません。またある者は、奥さんがガンを煩うという悲しみに遭いました。上司とけんかして会社をやめ、挫折、その後「地元で仕事をしたい」とタコヤキ屋を開業した者もいます。集まると、屈託のない昔の仲間たちですが、悩みはそれぞれです。今や、この音楽活動は趣味をこえ、自分たちの精神的拠り所となっているようです。吉永小百合と橋幸夫の「いつまでも夢を」ではありませんが、「いつまでも夢を」。これからも音楽活動を通じて夢を追いかけていきたいものです。

October Club Meeting

『BF』

10月第1例会

日時：2008年10月15日(水) 18:30~20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

司会：中村 茂高君

1. 開会点鐘 大村 肇 会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 大村 肇 会長
4. 聖句朗読 山中 秀男 君
5. 今月の強調活動 山田 孝彦 君
6. 晩餐 一同
7. 卓話「表現・コミュニケ-ション学科の取り組みとそこから見えるもの」
大阪土佐堀YMCA 表現・コミュニケ-ション学科 鍛冶田 千文 学科長
8. お誕生祝い・ニコニコ献金
9. 閉会点鐘 大村 肇 会長

10月第2例会

日時：2008年10月22日(水) 18:30~20:30

場所：大阪YMCA土佐堀会館4階

10月お誕生日：山村メネット(9日)

例会担当：1班：大村、新保、田中、畠中、山田、山中君

【クラブ統計 Statistics】

2008年9月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メン	13名	7名	9月 152g	9月： 17,500円
例会出席 14名	メネット	6名	0名	現金 0円	
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	累計：472g	累計：71,700円
出席率 77.8%	ゲスト	5名	0名		
	合計	24名	7名		

9月第2例会報告

赤毛のアンは日曜学校が主催するピクニックで大好きなアイスクリームが食べられるとあって有頂天はしゃぎまくっている。マリラが注意しますが、言い返します。

<リンドのおばさんは "何も期待しない人々は幸いなり、決して失望する事が無きが故に">と云うけど、何も期待しないよりは、期待して失望する方が、ずっといいわ>

作者の ルーシー・モード・モンゴメリーは生まれ、育ったプリンス・エドワード島を舞台に小説"赤毛のアン"を展開します。彼女は教師、婚約、婚約破棄、長老派教会、牧師と結婚、そして赤毛のアンを書きます。聖書、シェクスピア、ブラウニングの詩に精通し、リンドおばさんのセリフも、聖書をもじって多くの格言、警句を残した18世紀の英国詩人 アレキサンダー・ポープの引用で、全編珠玉の文章、言葉が散りばめられています。プリンス エドワード島にカナダ YMCA 創立 100 年を記念して、センテニアル Y's メンズクラブが誕生し、我がクラブの名前の由来も大阪 YMCA 創立 100 年でこれをヒントにしました。

現在、NHK 教育テレビの火曜日、11:00 - 11:30 pm、再放送は翌週の火曜日 6:40 - 7:00am、0:10 - 0:30 pm で英会話'赤毛のアンへの旅'を、松阪慶子とニューヨーク在住の二人のお嬢さんで現地口を混じえしています。

聖句選 コメント: 山中 秀男

9月第1例会報告

日時: 2008年9月17日(水) 18:30 ~ 20:30

場所: ホテルグランヴィア大阪

メネットによる企画と運営で行われる9月の例会は、ゲスト5名、総勢24名とにぎやかに、山村利子メネット会長の点鐘で始まりました。

今回のゲストスピーカーは、豊中市で4年前から開業している千里ペインクリニックの松永美佳子院長。ペインクリニックは、癌による痛みや吐き気、倦怠感などをコントロールし苦痛を取り除く治療のこと。「在宅ホスピス」とは、余命幾ばくもない患者が残された時間を家族とともに有意義に過ごすための看護。病院は24時間、365日体制で行っているとのこと。NHKのテレビ番組で紹介されたある男性は、余命3ヵ月と宣告されながらも家族のあたたかい思いやりと訪問看護に支えられ9ヵ月を生き延びたそうです。死の2週間前に焼酎でパーティーをしていたというから驚きです。私たちも自身の死について考えさせられました。

(中村 茂高)



宅話をされる松永院長

協議事項及び連絡事項

- (1) 11月例会/11月19日(水)卓話を山中メンに依頼。
- (2) 表現コミュニケ-ション学科の生徒との今後の交流について12/10(水)クイズ形式のゲ-ムとビンゴを合わせた内容にする。
- (3) ハイキングの件
11月23日(日) 山中メンに一任。JR 生瀬から武田尾温泉を予定
- (4) EMC シンポジウム
10月11日(土) 13:30~17:00 南YMCA
出席者: 石津、松浦、坂本、大村、山田、三浦
- (5) 大阪ワイズメンズクラブ80周年例会
11月8日(土)
出席者: 山田、松浦、石津、大村、山村メネット、山中、山中メネット、三浦
会費は10/31までにクラブ単位で振り込む。
- (6) 12月例会
第1例会: 12/17
<ミュ-ジシャンを大村会長に折衝依頼>
第2例会: 12/10に変更する
- (7) 「第14回大阪YMCAチャリティ2008」の開催決定
日時: 11月24日(月・祝) 9:00~13:30
会場: 万博記念公園
ランナ-: 山田、山中、新保、中村、大村(補欠)
- (8) センテニアル寄席=2/7(土)のチラシ、チケット作成の件、役割を分担して行う。
- (9) 土佐堀カ-ニバル=11/3(月・祝)担当=受付
10月例会で出席者を確認する

10月YMCAニュース

早天祈祷会

日時: 10月17日(金)7:30~8:30

* 毎月第三金曜日

証し: 立山英展氏(統括本部スタッフ)

土佐堀Yキリスト教セミナー

プロテスタント日本伝道150年とYMCA

お話と音楽 ケーキをいただきながら.....

日時: 10月9日(木)18:30~20:30

「今、私達に求められることは..... 宣教200年に向けて」

近藤勝彦氏の「日本伝道百五十年」の著書をもとに、YMCAに関わる喜びは何か、それはどういう種類の喜びなのか、真の喜びとは...

講師 岡村恒牧師(大阪教会・土佐堀YMCA運営委員)費用 300円

教育を共に考える集い

テーマ: 不登校と高校中退 「学校との関係」を見直すー

日時: 10月18日(土)14:00~16:00

場所: YMCA学院高校(大阪市天王寺区)

講師: 羽下大信(はげひろのぶ)氏(甲南大学・大学院教授 臨床心理・コミュニティ心理学)

子どものエンパワメントを考える教育セミナー
テーマ 不登校をはじめとした子どもの問題とその
援助を考える

日時：11月15日(土)13:00～16:00
16:00～個別相談(9組のみ)

場所 大阪YMCA会館

講師：橋詰知子(臨床心理士・YMCA総合教育センター
カウンセラー)

「お茶会」交流会

大阪YMCA/表現・コミュニケーション学科の 生徒たちの感想

8月6日、大阪YMCA会館で行われた「お茶会交流会」の生徒たちの感想文です。(原文)

今日は貴重な体験が出来たので良かったと思う。今後やってほしい事は、今日みたいな貴重な体験を増やしてほしいと思う。

お茶の飲み方を知れてよかった。

貴重な体験が出来たと思います。こういうことが日本全国に広まっていけば良いと思います。

今日はお茶を最後にたてられて良かったです。

日本の文化はほっとするなぁということが改めて実感しました。お抹茶は苦い印象があったけど、今日は苦い感じがなくて思ったよりも飲みやすかったです。

日本の伝統(茶道)について学ぶことが出来てよかった。これからも交流があるとのことなので大切にしたい。

茶道やったことなかったのが楽しかったです！意外とお茶が苦くなくて驚きました。

今日は貴重な時間をさいてまで来て下さりありがとうございます。とてもお茶はおいしかったです。私達の勉強時間に鍛治田先生指導のマナーの授業があります。その時にでもぜひ活用出来るなと思いました。やってほしい事は特にありません。お話を聞くだけでも楽しかったです。

今日の茶会はとても良かったです。とくに茶が飲みやすく和菓子も甘さが控えめでとても上品な味でした。

めったに出来ないことなので今度はちゃんとした和室でしたい。

美味。楽しかったねや。みんな良い人すぎだぼ。

意外と飲みやすくて良かった。

今日はとてもいい内容でした。おいしかったです。

とても美味しかったです。お茶の世界をスライドや話で授業を楽しめた。

お茶菓子が美味しかったです。こんどは畳の部屋でやりたい。

あまり体験できないことができてとても良かったです。

とてもお茶が美味しかった。色々な人たちと触れ合えるので交流は良いと思います。

雰囲気もあったと思うけど、とても美味しく食べたり飲んだり出来ました。

和のことが好きだったので今日のお茶をすることができて本当に良かったです。着物の話が聞いてみたいです。

今度は畳でちゃんとやりたいと思います。結構お菓子もおいしかったし、お茶も美味しかったし今日やって良かったと思います。

今回の茶道は普段することのないことが体験できてとても良かったと思います。今後は野外での活動をやってみたいと思っています。

普通に面白かった。茶や和菓子が美味しかった。茶の飲み方間違いだった。

中学時代に感情が昂ぶったときに沈めるのによくお茶を飲んだのを思い出しました。今日の茶会も心安らぐものでしたが、少し昔を思い出して何か苦いものも込みあがってきたりもしました。

Club Activities for September, 2008

On September 17, the club's September meeting was held at the Hotel Granvia Osaka, with a total of 24 Y's men, Y's menettes and guests in attendance. With its emphasis on "Y's menettes' activities" this month, Y's menettes presided the meeting.

The highlight of the meeting was a speech made by Dr. MIKAKO MATSUNAGA, director of the Senri Pain Clinic, Osaka. Showing video films shown over NHK TV network recently, she spoke about the medical treatment for those cancer patients at terminal stage after discharged from hospital.

It was a time for all members to consider positively of the death and the so-called "hospice" care in our life.

Yen 17,500 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund at the meeting.

9月BFニュース

切手提供者

中村隆、山田、谷川、田中、三浦君 計 152g

今月の殊勲賞：中村隆君 70g

《お詫び》

7、9月第一例会で「日々の糧」の曲が演奏できず、ご迷惑をおかけしました。「ワイズソング」と「日々の糧」が一枚のCDに入っていたため、この2曲を別々のCDに作り替えることで、今度はいくとも思っています。
(福永 嘉彦)



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

中西部で最後のクラブ訪問になりました。やっと来ました！肩の荷がおりた感じです。センテニアルはセンテニアルの例会運営があり良いムードの中大いに参考になりました。
(大阪茨木クラブ 会長 三牧 勉)

会員からのメッセージ

興味深く話を聴かせていただきました。物心両面で準備をしておく必要があると感じました。
(石津 雅人)

今日は貴重な話を聞くことが出来これからの医療について考えさせられました。
(大村 肇)

義母・義父をこの2年半で見送ったこともあり大変興味深く聴かせていただきました。私の両親も本人らしく最後までいれるよう元気なうちから考えておきたいと思えます。
(鍛治田 千文)

以前からホスピスや在宅ホスピスには大変関心があったので本日のお話はとても参考になりました。
(坂本 千春)

宅話のペインクリニックの余命の話しとても興味深かったです。
(坂本 哲朗)

先月は施設の入所者が亡くなり失礼しました。今また二人が入院しています。長生きをしてほしいと思っております。
(新保 正秋)

在宅ホスピスのお話を伺い少し心配が減りました。「その日」が来たら私は松永先生に診て頂こうと思えます。クリニックの家族会でボランティアをされている山村メネットにもお話を聞きたいです。
(隅田 恵子)

メネットの皆様、今晚は貴重なお話を聞くことが出来て感謝です。山村、中村メネットご苦労様でした。
(田中 穰二)

千里ペインクリニック院長自らの講演を聴く機会を得て、その存在の大きさとその必要性を知りました。癌になり末期へと進んでいく中で私達には「死に対する教育」というか死と直面する事を話し合ったり学習することもなく暮らしていることを反省している。
(谷川 有美子)

山村メネットのお陰で有意義なメネットナイトになりました。
(中村 幸枝)

高齢社会の中で在宅ホスピスはこれから大事な課題です。我々にとっても切実な問題になりそうですね。松永院長先生とても良い話でした。
(中村 茂高)

珍しい在宅ホスピスのお話を聴きながら同じ千里に居ながら知りませんでした。改めて意識を深めました。感謝！
(福永 嘉彦)

メネットの皆様企画・運営ですばらしい例会になりましたことに感謝申し上げます。食事、スピーチとも秀逸で大変心に残るひとときでした。特に在宅ホスピスのお話は初めて聞くトピックで人ごとではないと実感致しました。
(藤原 正巳)

在宅死が10%程度ということを知り祖父祖母の時代は在宅死が当たり前だったことを思い起こしました。在宅ホスピスの意義について勉強させていただきました。山村メネット会長をはじめメネットさん今月はありがとうございました。
(松浦 孝次)

在宅ホスピスのお話、初めて聞きました。どういう最後を迎えるかとても考えさせられました。
(松浦 和子)

ペインクリニックのお話をお聴きし私の余命が全く判然としないことが不安でありました。生きている間は楽しくいくのが一番です。
(三浦 直之)

わがセンテニアルのメネットさんは平素から積極的にワイズ活動に参加してメンと一緒にワイズライフを楽しんでおられることに感謝しています。これからもますますメンを支えて下さる様に願っております。
(山田 孝彦)

「松永先生をお迎えしてお話を聞くことができ、ありがとうございました。「在宅ホスピス」で主人も松永先生に看取っていただいた事を、昨日のように思い出し感傷的になってしまいました。「在宅ホスピス」を一般の人に知ってもらい、理解される事の大切さを学びました。神に感謝します。」
(山村 利子)

秋のハイキングへのお誘い
旧福知山線の線路跡コース

と き：11月23日(日)

集合・場所：午前10時、JR福知山線生瀬駅

行程：旧福知山線の線路跡を生瀬駅から武田尾駅まで歩き、途中で昼食をとり武田尾で解散。希望者のみ武田尾温泉で、日帰り入浴をします。

持ち物：弁当、飲み物、必ず持ってきてほしいのは、懐中電灯(トンネルの中を歩きますから)入浴される方は、その準備をしてください。

後記

信仰、希望、そして愛

すみわたった秋空の9月末。敬虔なクリスチャンで、フォークソングとゴスペル歌手・本田路津子さんが、西宮市民会館で最後のコンサートを開きました。終演後、「もう60だから、歌手としてもそろそろ定年ね」と語る彼女の著書を買って、サインをもらったら、そこには「信仰、希望、愛」と書かれていました。その共著「私を変えた聖書の言葉」は日野原重明さんを筆頭に15人が執筆しています。その中で、本田さんは、アルツハイマー症で人格が崩れゆく父親の看護を通じて、人の尊厳について書いていました。

父親の死の2週間前、葬儀の備えで賛美歌を考えていた母親が「どれにしようか？」と歌を口ずさみながら本田さんに相談していたら、賛美歌の298番のところで、ベッドで眠っていたはずの父親の手がすーっとのびて、本田さんの手を握ったそうです。すっかり痴ほうになってしまったとばかり思っていた父親が、正気に戻った一瞬でした。そのとき、父親の信仰の奥深さを知ったと書かれていました。誰もが老い、死を迎えるなか、人の尊厳を保つのは「信仰であり、どんな時も希望を捨てず、愛をもって生きる」。これはコリント人への第一の手紙です。もうお会いすることがないだろうと思われる、本田さんとの最後の印象深い話でした。

中村 茂高